

平成 25 年度 第 1 回 十和田市病院事業経営審議会 議事録

日 時 : 平成 25 年 5 月 17 日 (金) 15:00 ~ 16:00

場 所 : 十和田市立中央病院 別館 2 階講堂

出席者 (委員) : 竹島勝昭、江渡信貴、小村初彦、今泉勝博、東秀夫、野月一博、小嶋泰彦、高橋俊介、伊藤博次、鳥越正美、工藤行雄、古川あき

その他の出席者 : 松野事業管理者、丹野院長、工藤副院長、小山医局長、小又看護局長、小笠原薬局長、須藤技師長、古川技師長、清水技師長、中居事務局長、斗賀医事課長、佐々木業務課長

次第 : 1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 病院事業管理者あいさつ

4. 会長、副会長の選任

5. 議事

報告 1. 平成 25 年度病院事業会計予算について

報告 2. 平成 24 年度病院事業会計決算見込みについて

6. 閉会

佐々木業務課長	<p>私は本日の司会を務めます、業務課長の佐々木でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは経営審議会の開会に先立ちまして、今回お配りした資料の確認をさせていただきます。お手元の資料として、平成 25 年度第 1 回十和田市病院事業経営審議会会議資料、次第から 5 ページまでの関係でひと綴りとなっております。もし、資料の乱丁、落丁等ありましたら、手を挙げて申し出ただければと思いますが、ご確認をお願いいたします。</p> <p>それでは、ここで委嘱状の交付を行います。管理者が皆様のお席に回りますので、その場でご起立の上、受領くださいますようお願い申し上げます。先ほどお配りした、会議資料の 4 ページの委員名簿の最初にあります、竹島様より交付いたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
松野事業管理者	<p>竹島勝昭様、十和田市病院事業経営審議会議員を委嘱します。期間、平成 25 年 5 月 17 日から平成 27 年 3 月 31 日まで。平成 25 年 5 月 17 日、十和田市立病院事業管理者 松野正紀。</p>
佐々木業務課長	<p>以下、ご氏名を読み上げますので、その場で受領してくださいようお願い致します。</p> <p>江渡信貴様、小村初彦様、今泉勝博様、東秀夫様、野月一博様、小嶋泰彦様、高橋俊介様、伊藤博次様、鳥越正美様、工藤行雄様、古川あき様。以上で委嘱状の交付を終わります。ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、4 月 1 日に事業管理者に就任されました、松野正紀管理者よりご挨拶を申し上げます。お願い致します。</p>

<p>松野事業管理者</p>	<p>本年度、第1回目の経営審議会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>委員の皆様、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。この4月1日から病院事業管理者として着任いたしました松野でございます。</p> <p>私は、昨年10月から病院顧問という立場で、毎月当院を一回ほど訪れておりました。開設者であります市長さんをはじめ病院長から、医療体制やこれまでの経営改善の取り組みなどお話を伺ってまいりました。</p> <p>これまでの議論や意見を踏まえまして、事業管理者としてまずは行政と一体となった取り組みを進めまして、市の財政に負担を掛けず経営改善に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>申し上げるまでもございませんが、病院運営は委員の皆様方や関連施設の先生方、それから温かく見守ってくださる市民の方々の支援がなければ成り立ちません。そういうことから、どうか委員の皆様には今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶といたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>佐々木業務課長 丹野院長</p>	<p>続きまして、丹野病院長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>私のほうからも一言ご挨拶を申し上げます。日頃は当院の病院運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この4月より事業管理者として松野先生をお迎えいたしまして新しい体制でスタートを切っております。</p> <p>先生は私にとって、大学での上司であり大変お世話になった方で、当院でまた一緒にできることは非常にありがたく心強く思っております。先生は要職を歴任されて非常に経験豊富でございますので、私としても何でも相談できるということと、そのお知恵を拝借して何とか病院運営に邁進したいと思っております。医師の確保はなかなか簡単にはいかないわけですが、松野事業管理者としっかり情報を共有いたしまして、まずは現有のマンパワーでできるだけ効率的な病院運営に努めていきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。以上でございます。</p>
<p>佐々木業務課長</p>	<p>続きまして、ここで本日出席しております病院の職員を紹介いたします。</p> <p>事業管理者の「松野」でございます。</p> <p>院長の「丹野」でございます。</p> <p>副院長の「工藤」でございます。</p> <p>医局長の「小山」でございます。</p> <p>看護局長の「小又」でございます。</p> <p>薬局長の「小笠原」でございます。</p> <p>放射線科技師長の「須藤」でございます。</p> <p>栄養科技師長の「古川」でございます。</p> <p>リハビリテーション科技師長の「清水」でございます。</p> <p>事務局長の「中居」でございます。</p> <p>医事課長の「斗賀」でございます。</p>

<p>佐々木業務課長</p>	<p>最後にわたくし、業務課長の「佐々木」でございます。今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>それでは組織会に移りたいと思います。始めに、仮議長を決めてから会長・副会長の選出を行いたいと思います。暫時、院長が仮議長を務めてまいりたいと存じますが、皆様よろしいでしょうか。</p>
<p>委員 佐々木業務課長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>それでは、院長よろしくお願ひ致します。</p>
<p>丹野院長</p>	<p>それでは、暫時の間ですが、仮議長を務めてまいりたいと思います。よろしくお願ひ致します。次第の4にありますように会長、副会長の選任について、これを議題といたします。会長・副会長につきましては、経営審議会条例第3条第1項の規定によりまして、委員の互選によって定めるとございます。</p> <p>まず、会長についていかがいたしましょうか。</p>
<p>野月委員 丹野院長</p>	<p>議長一任いたします。</p> <p>ありがとうございます。それでは、議長・事務局一任ということでございますので、事務局といたしましては、会長は竹島委員をお願いしたいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>委員 丹野院長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>ありがとうございます。異議なしということで、竹島委員が会長に決定いたしました。</p>
<p>竹島会長</p>	<p>それでは、経営審議会条例第3条第2項の規定によりまして、会長が議長となりますので、ここで議長を交代したいと思います。竹島会長、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>竹島会長</p>	<p>引き続き、審議会の議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。次に、副会長を選出いたします。副会長の選出方法についてはいかがいたしましょうか。</p>
<p>野月委員</p>	<p>議長一任。</p>
<p>竹島会長</p>	<p>議長一任という声がありますが、ご異議ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なしの声あり</p>
<p>竹島会長</p>	<p>それでは、議長一任ということで、小嶋委員をお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なしの声あり</p>
<p>竹島会長</p>	<p>異議なしということですので、副会長には小嶋委員が決定いたしました。</p> <p>ここで、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>ただ今、委員の皆様のご推挙により会長に就任いたしました。副会長共々よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>さて、十和田市の最大の課題、難題であります病院事業につきましては、これまで様々な経営改革に取り組んでおります。まず、平成21年度の病院経営改革検討委員会の設置に始まり、平成22年度は地方公営企業全部適用への移行、そして、市からの不良債務全額解消のための多額の財政支援などがございました。</p>

また、平成 23 年度から平成 24 年度は市からの財政支援を受けながらではありますが、資金不足が発生していない状況まで病院経営は改善されているようでございます。そして、今年度から、先程挨拶ありました、松野事業管理者が就任され、丹野院長とともに市と病院が一体となった病院運営が進められることと思われまますので、経営安定化に繋がることを期待しているところでございます。

とりわけ、先程の院長の挨拶の中で、管理者とは大学病院時代の子弟関係であったとのことでありますから、お二人の協力で十和田市民の今一番の切実な願いとなっております、地元で安心して助産ができる産婦人科の一日の早い再開を切望する次第であります。私でも、病院審議会といたしましても、病院経営の安定化はもとより、市民が安心して暮らせる病院になるよう、重責を果たして参りたいと思っておりますので、松野事業管理者をはじめ丹野院長、そして病院職員の皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げまして、一言就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

それでは、会議に移ります。報告 1、平成 25 年度病院事業会計予算について、事務局から説明をお願いします。

事務局業務課の方から、25 年度の病院事業会計予算について、お手元に配布されています、会議資料の 2 ページについて説明させていただきたいと思えます。25 年度予算関係について、大きく 7 つの項目に分けて皆さんにお知らせしたいと思えます。

一つ目の急性期医療の強化による入院収益の増ということで、前年度予算比較を見ますと、8 千 7 百万ほどの増を見込んだ形で事業を展開していきたい。これは、新入院患者数の強化を図るとともに、急性期医療としての在日数による入院単価のアップを図るということです。平成 24 年度の入院患者数は 250 人、平成 25 年度は 240 人で、人数は減っていますが、在院日数等の関係から医療単価がアップしますので、こういう面を使って医療増収を図りたいと思っております。

二つ目は、外来診療の充実による外来収益の増です。こちらも前年度比較を見ると、4 千 9 百万ほどの増を見込んだ形で事業展開をしたい。内容については、重篤患者の積極的な受け入れと紹介・逆紹介による地域医療機関との連携強化を図りながら、外来診療の充実を図っていきたい。

三つ目は、今現在、病院単独では事業展開ができないので、市からの繰入金がございます。前年度比較で 4 億 8 千万ほどの減にはなりますが、これは企業債元金の一般会計からの特別支援がなくなることから減額となります。

四つ目は、院内保育所の設置について、本年度、事業費として 2 千万の予算計上をしています。目的としては、医師、看護師が安心して働くことができる職場環境を整備、特に女性医師の割合の高い産婦人科医師や看護師の確保・離職防止対策を強化することです。

五つ目は、医療機器の購入について、本年度は事業費として 2 億 5 千 5 百万の予算を計上しています。内訳は、新規が 10 件で 2 千 6 百万ほど、更新が 27 件で 1 億 6 千 4 百万ほど、増設が 6 件で 6 千 4 百万ほどとなっています。

佐々木業務課長

	<p>六つ目は、企業債の借入について、限度額は2億7千5百万をみています。これは、先程の五つ目の医療機器の購入2億5千5百万と院内保育所の設置2千万を足した合計で2億7千5百万、財源が要するに起債100%を充当しますという予算概要となっています。</p>
竹島会長	<p>七つ目、企業債の償還の状況です。25年度の元金、利子合わせた償還額累計が9億7千6百万ほどになっています。こちらの元金、利子の償還額については、平成20年度に発行した、病院特例債を含んだ形での額になっています。大まかな平成25年度の予算計上については以上です。</p>
小村委員	<p>ただ今の報告について、何かご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p>
佐々木業務課長	<p>四つ目の院内保育所の設置についてご質問させていただきたいと思います。設置につきまして、具体的な日時が分かれば教えていただきたい。</p> <p>ただ今の小村委員からの質問にお答えします。現在、事業内容については、まだ病院内で検討中の部分があるものですから詳しい話はできないのですが、予想としては、来年の4月1日を考えております。場所等の関係についてまだ迷っている段階なので、その関係で進めないでいる状況ですが、できるだけ年内でそのような形で整備を進めていきたいと考えています。</p>
小村委員	<p>要望ですが、できれば耐震化の部分も含めて調査して、設置のほうをしていただきたい。</p> <p>次に、一つ目の入院患者について、医療制度の部分で一週間以上の方々の入院となった場合、入院経費がかさむという点がございしますが、このことについてご説明をお願いしたいと思います。</p>
斗賀医事課長	<p>DPCという入院費用を請求する、包括払い制度がございまして、料金が階段式に設定されておりまして、日数が長くなってくると診療単価がだんだん下がっていきます。ですから、当院としては在日数を短くして、なおかつ、在日数が短いと、診療単価が高いところで推移しますので、そういう形で入院を進めていきたい入院が長くなると、その分だけ経費が増えていくこととなります。</p>
小村委員	<p>ありがとうございます。以上です。</p>
竹島会長	<p>その他ありませんか。ないようですので、次の案件に移ります。</p>
佐々木業務課長	<p>報告2、平成24年度病院事業会計決算見込みについて、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>引き続き、業務課の方から説明させていただきます。</p> <p>一つ目の収益的収支について、数字を羅列するような形になりますが、お知らせいたします。収益的収入は75億4千万、収益的支出は84億6百万となる見込みです。平成24年度決算において、8億6千6百万円の純損失が発生してございますが、減価償却費などの現金の支払いを要しない経費を除いた実質的な現金ベースでの収益的収支の状況は2億4千百万円の黒字となる見込みです。続いて下の表にあります減価償却費等について、これには減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却、土地売却費の勘定科目が入っています。</p>

竹島会長	<p>二つ目について、予算は収益関係と資本関係の大きく2つの項目で成り立っています。資本には建物や医療器械が予算計上されます。24年度の決算見込みとしては、資本的収入が9億2千2百万、資本的支出として11億7百万ほど、差し引いて1億8千5百万ほどの減になります。収入の内訳については、土地の売却の関係7千3百万円、こちらは駐車場の北第2と北第4という駐車場、旧院長宅についての土地売却の関係が出たことになります。その他に一般会計からの繰入、一般会計出資金があります。支出の関係については、医療機械と企業債元金償還が入ります。企業債の利子については、資本的収支ではなくて収益的収支のほうに計上されます。</p> <p>三つ目の現金ベースでの単年度資金収支は5千6百万になります。こちらは当然一般会計からの特別支援もあります。一般会計からの繰出の状況として、24年度では15億9千2百万、その内訳として、市の財政当局の方と協議しながら進めてきている基準外の繰出金が6億6千8百万、この内容については平成20年度で借りました特例債の元利償還の部分を出していただいています。その他、企業債の元金と利子分をいただいています。</p> <p>決算については以上でございます。</p> <p>ただ今の報告につきまして、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p>
鳥越委員	<p>資産減耗費が8百万とありますが、これは例えばこういったものが資産減耗となるのか。もう一つ、企業債の借入の利率は、時によって違うのか、それともずっと同じ利率になるのか。</p>
佐々木業務課長	<p>まずは、資産減耗費についてこれは主に薬品関係のものです。</p> <p>次に企業債の利率については、平成24年度は0.6%の利率となっています。だいたい概ね0.5~0.8%ぐらいの範囲がここ最近の借入状況でございます。</p>
竹島会長	<p>その他に何かありますか。</p> <p>ないようですので、これをもって報告事項の審議を終了させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成25年度第1回目の経営審議会を終了させていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

